



# 赤十字いしかわ

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

令和6年度秋号

## 被災地に寄り添う赤十字の活動



仮設住宅のみなさんで育てたグリーンカーテン。実ったゴーヤを笑顔で収穫!

### Topics

- ・発災急性期における赤十字の活動
- ・被災地に寄り添う赤十字の活動
- ・ともに被災地を支援する赤十字の仲間たち
- ・義援金の受付

### 赤十字は、動いてる!

**+ SAVE365**

日本赤十字社は、皆さまのご支援で、  
365日活動を続けています。

石川県支部  
ホームページ



Facebook



X(Twitter)



Instagram



日本赤十字社キャラクター

**ハートちゃん**

石川県観光PR  
マスコットキャラクター  
**ひやくまんさん**

石川県支部オリジナルピンバッジ  
©2013 石川県 ひやくまんさん #0937

# 令和6年能登半島地震

## 発災急性期における赤十字の活動

医療救護班、こころのケア班は365日24時間出動に備えています。

### あのときもこれからも私にできることを ～自衛隊ヘリでの患者の搬送～

金沢赤十字病院  
黒川 理沙 看護師



私は1月3日、4日に能登へ赤十字救護班として派遣されました。発災直後であったため被災地から患者を医療ができる地域へ搬送する活動が中心でした。珠洲市は陸路が寸断されていたため、被災地外への搬送は全て空路でした。私はDMAT隊員で研修や訓練を受けているということで自衛隊ヘリCH-47に静岡県の医師と同乗し富山空港まで11名の患者を搬送しました。患者の中には家族を亡くしたり、連絡が取れないまま遠くの病院に行くことになったと不安そうに話されている方もおられました。ヘリの中で医師と共に状態観察を行いながら、富山空港まで何事もなく到着する事ができほっとしました。これからも能登のために何ができるのかを考え、私にできる支援を続けていきたいと思っています。

### 医療救護班の派遣

医療救護班 (DMAT含む) 延べ**342**班  
日赤災害医療 コーディネートチーム 延べ**119**チーム



### こころのケア班の派遣

こころのケア班 延べ**45**班



令和6年1月1日16:10  
最大震度7の  
地震が発生

1月

2月

3月

4月

5月

### 給水衛生事業



避難所に浄水・加温機器を設置

### 救援物資の配布

- ・毛 布 ————— **16,005** 枚
- ・安眠セット ————— **5,230** セット
- ・緊急セット ————— **2,224** セット
- ・その他 携帯型簡易トイレ — **3,400** 個

### 赤十字ボランティア

赤十字ボランティア  
延べ**1,709**人が活動



### 赤十字マークの重さを知った

～日赤として初めて奥能登の珠洲市に入る～

さいたま赤十字病院  
八坂 剛一 医師

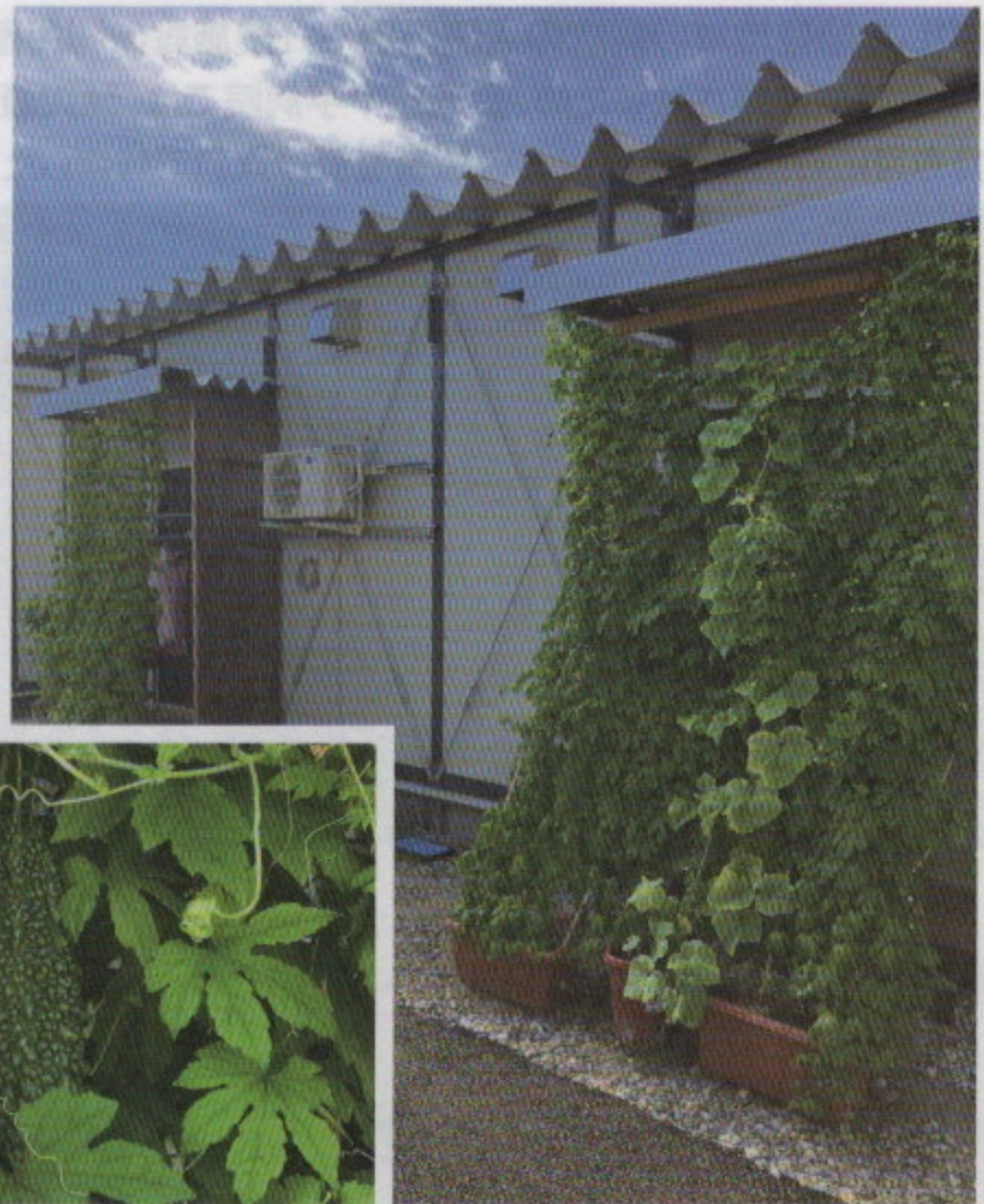


通行できる道を探しながら、七尾市から珠洲市まで通常2時間の経路を6時間かけて向かいました。到着したのは生死の境と言われている72時間を超えた頃。倒壊していない建物は少ないくらいでももちろん電気も水もない。当初は本部での活動を予定していましたが、「待っている人がいるので行くしかない」と考え、自衛隊とともに孤立避難所を巡回することにしました。

避難所に着くと、お薬手帳を持って私の前に並び、「この薬は飲まなくても何とかありますか」とアドバイスを求めてくる方も。「見捨てられているかと思っていた。日赤さんが来てくれてよかったよ」と声をかけていただき、赤十字マークの重さを改めて心に刻みました。

## 仮設住宅でのグリーンカーテン作り

仮設住宅にて熱中症予防啓発活動を行いました。熱中症セミナーでは、水分塩分補給の大切さや暑さに身体を慣らすことなど、熱中症対策について学んでいただきました。また、仮設住宅でのコミュニティづくりのお手伝いとして夏の猛暑を和らげるグリーンカーテンづくりも実施し、皆さん楽しみながら活動されていました。成長したグリーンカーテンにはたくさんのゴーヤが実りました。



皆さまのご支援で救援物資の備蓄、救急法等の講習や被災地等でのボランティアなど様々な赤十字の活動を続けることができます。

## 避難所でリラクゼーションを提供

赤十字ボランティアが避難所や仮設住宅で生活されている方へ足湯や癒しのハンドケアを実施し、避難生活におけるストレスが少しでも緩和されるよう皆さんにひと時のリラックスタイムをお過ごしいただきました。



## 避難所でラフターヨガ(健康体操)を実施

ラフターヨガとは、笑いと呼吸を組み合わせた健康体操です。笑顔で手拍子と掛け声に合わせて身体を動かし、楽しい時間を過ごしていました。避難者の笑顔から町の職員や赤十字のスタッフも元気をもらいました。



ともに被災地を支援する赤十字の仲間たち

金沢赤十字病院

被災した能登地域の病院の入院患者や介護施設の利用者を、安全な病院に避難させるため、金沢赤十字病院では、発災直後から約1カ月にわたり100名以上の患者を受け入れてきました。



病院の情報は  
こちら



石川県赤十字血液センター

地震発生翌日から能登地方の病院へ血液の供給を行いました。被災地で血液を必要としている人に安全に届けられるよう、通行可能な道や所要時間などの共有を徹底しました。帰所時間が深夜になることもありましたが、無事に血液を届けることができました。



献血の情報は  
こちら



血液供給の道中  
通行不可となっている道路

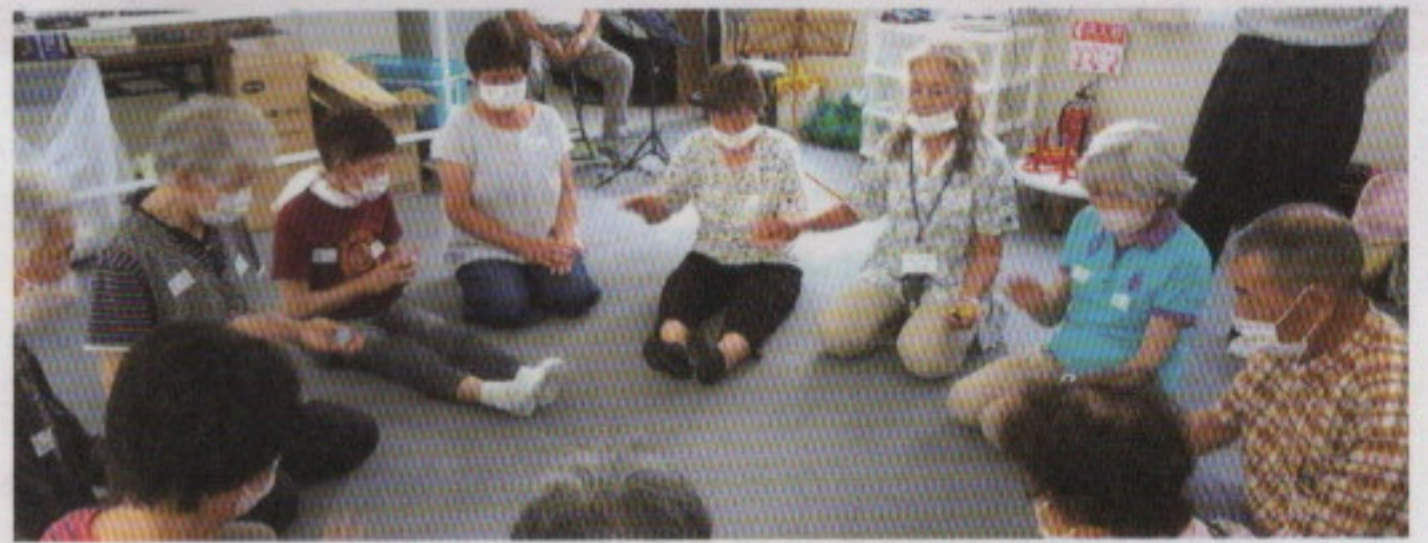
能美市赤十字奉仕団チーム20

赤十字奉仕団員や市民団体から物資を集め、1月3日に富来、4日には能登島の避難所を回りました。1月16日から珠洲市に入り、避難所から必要な物資を聞き取り届ける支援を奉仕団員と毎週続けています。炊出しも希望の献立を聞きながら毎月3か所位で行なっています。今後も能登の方へ寄り添う支援を続けていきます。



宝達志水町赤十字奉仕団

「仮設住宅の方々の心と体の健康」をテーマに穴水町の仮設住宅を訪問しています。訪問ボランティアでは心のリフレッシュのために茶話会・音楽鑑賞を行ったり、体の機能低下予防のために軽体操などを行っています。また様々な要因で外に出られない方の不安解消のために傾聴ボランティアも行っています。



その他にも全国各地の多くの赤十字の仲間たちが被災地を支援してくれています。

義援金の受付

赤十字では「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集活動を行っており、お預かりした義援金は石川県が設置する義援金配分委員会へ全額送金しております。

※赤十字では手数料等一切いただいておりません。



〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目48番地 石川県医師会・日赤共同ビル1階  
TEL:076-239-3880 FAX:076-239-3881  
https://www.jrc.or.jp/chapter/ishikawa

